

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

施策4 利便性の高い快適な都市基盤の整備

1 鉄道連続立体交差の推進 重点

鉄道立体化に伴い円滑な道路ネットワークをつくり、交通渋滞や事故、地域分断の解消を実現するため、鉄道の連続立体交差事業*を東京都、関係区市、鉄道事業者と連携・協力して推進するとともに、住民との協働により安全で利便性の高い沿線のまちづくりを進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	京王線 連続立体交差 事業推進 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	京王線 連続立体交差 事業推進 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	京王線 連続立体交差 事業推進 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	京王線 連続立体交差 事業推進 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	京王線 連続立体交差 事業推進 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進
	西武新宿線 連続立体交差 検討 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	西武新宿線 連続立体交差 検討 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	西武新宿線 連続立体交差 検討 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	西武新宿線 連続立体交差 検討 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進	西武新宿線 連続立体交差 検討 沿線まちづくり まちづくり方針 に基づく取組の 推進
経費(百万円)		15	15	15	45

* 鉄道の連続立体交差事業…市街地において道路と交差している鉄道を一定区間連続して高架化又は地下化することで立体化を行い、多数の踏切の除却や新設交差道路との立体交差を一挙に実現する都市計画事業

2 都市計画道路**の整備

区民生活の防災性・安全性・利便性を向上させるため、「東京における都市計画道路の整備方針(第四次事業化計画)」に基づき、区が施行する優先整備路線(4路線)の事業化を進めるとともに、都施行の路線については東京都と連携し整備を進めます。また、都市計画道路の整備にあわせて電線共同溝の整備を行うとともに、歩道のバリアフリー化を行い、高齢者・障害者等だれにもやさしいまちづくりを進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	区施行優先整備路線 補助第132号線 用地測量	区施行優先整備路線 補助第132号線 (青梅街道～ 関根橋間) 事業認可準備	区施行優先整備路線 補助第132号線 (青梅街道～ 関根橋間) 事業認可・物件 調査・設計	区施行優先整備路線 補助第132号線 (青梅街道～ 関根橋間) 用地折衝・設計	区施行優先整備路線 補助第132号線 (青梅街道～ 関根橋間) 事業認可準備 事業認可・物件 調査・設計・用 地折衝
	補助第216号線 補助第221号線 補助第227号線 事業化検討	補助第216号線 補助第221号線 補助第227号線 事業化検討	補助第216号線 補助第221号線 補助第227号線 事業化検討	補助第216号線 補助第221号線 補助第227号線 事業化検討	補助第216号線 補助第221号線 補助第227号線 事業化検討
経費(百万円)		3	170	147	320

** 都市計画道路…都市の基盤的施設として計画的な整備を目指し、都市計画法による都市計画決定を受けた道路

3 狭あい道路※¹の拡幅整備事業と電柱セットバック※²の推進

重点

震災時の火災危険度が高い木造住宅密集地域、地震被害シミュレーション結果により火災の延焼リスクが高いと想定された区域(整備地区)、拡幅の必要性が特に高い重点整備路線及び区立施設に接する狭あい道路の拡幅整備を推進します。緊急車両等の通行の支障となる後退用地※³に設置された支障物件※⁴の除却の促進を図るとともに、電気事業者等への要請により拡幅整備後の電柱のセットバックを促進し、円滑な通行のための道路空間を確保します。

また、「杉並区狭あい道路の拡幅に関する条例」改正後の効果を検証し、必要な措置について検討を進めます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	狭あい道路拡幅整備 拡幅整備9,500m	狭あい道路拡幅整備 拡幅整備10,000m	狭あい道路拡幅整備 拡幅整備10,000m	狭あい道路拡幅整備 拡幅整備10,000m	狭あい道路拡幅整備 拡幅整備30,000m
	重点整備路線、整備 地区等の拡幅整備 の促進 戸別訪問等実施	重点整備路線、整備 地区等の拡幅整備 の促進 戸別訪問等実施	重点整備路線、整備 地区等の拡幅整備 の促進 戸別訪問等実施	重点整備路線、整備 地区等の拡幅整備 の促進 戸別訪問等実施	重点整備路線、整備 地区等の拡幅整備 の促進 戸別訪問等実施
	支障物件除却促進	支障物件除却促進	支障物件除却促進	支障物件除却促進	支障物件除却促進
	電柱のセットバック 事業者等要請	電柱のセットバック 事業者等要請 改正条例の効果検証	電柱のセットバック 事業者等要請 —	電柱のセットバック 事業者等要請 —	電柱のセットバック 事業者等要請 改正条例の効果検証
経費(百万円)		1,123	1,133	1,128	3,384

※1 狭あい道路…通行上の問題があるばかりでなく、地震や火災などの災害時には消防、救急活動に支障をきたすことが予想される幅員4メートル未満の道で、一般交通の用に供されているもの

※2 電柱セットバック…狭あい道路の拡幅整備に伴い、既存の電柱を移設し、防災性の向上と円滑な通行を確保すること

※3 後退用地…建築基準法第42条第2項に規定する道路に接する敷地の一部で、道の中心線とその中心線からの水平距離2メートルの線との間にあるもの

※4 支障物件…土地に定着する工物物その他の避難上及び通行上支障となるもの(容易に移動させることができるものや、建築基準法に規定する建築物や擁壁は除く)



狭あい道路

4 生活道路等の整備

防災性や安全性の向上のため整備を行う必要性の高い優先整備路線をはじめとして、区内の生活道路を良好な状態に保つため、計画的に道路拡幅や路面改良工事を行うとともに、公共性のある私道の舗装費用等の助成を行います。

また、生活道路への通過交通の進入抑制等や無電柱化に向けた調査・設計等を行うなど、更に安全で快適に歩ける歩行者優先の道づくりを進めます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	主要生活道路の整備 優先整備路線 調査・検討 安全対策路線 整備	主要生活道路の整備 優先整備路線 測量 安全対策路線 整備	主要生活道路の整備 優先整備路線 測量 安全対策路線 整備	主要生活道路の整備 優先整備路線 設計 安全対策路線 整備	主要生活道路の整備 優先整備路線 測量・設計 安全対策路線 整備
	私道整備 舗装改修・新設等 11,000㎡	私道整備 舗装改修・新設等 10,000㎡	私道整備 舗装改修・新設等 10,000㎡	私道整備 舗装改修・新設等 10,000㎡	私道整備 舗装改修・新設等 30,000㎡
	排水設備 500m	排水設備 500m	排水設備 500m	排水設備 500m	排水設備 1,500m
	道路の路面改良 30,000㎡	道路の路面改良 30,000㎡	道路の路面改良 30,000㎡	道路の路面改良 30,000㎡	道路の路面改良 90,000㎡
	水のみち*整備 設計 140m 整備 90m	水のみち整備 設計 60m 整備 50m	水のみち整備 設計 85m 整備 60m	水のみち整備 整備 85m	水のみち整備 設計 145m 整備 195m
	無電柱化の推進 調査・検討	無電柱化の推進 調査・設計	無電柱化の推進 調査・設計	無電柱化の推進 調査・設計	無電柱化の推進 調査・設計
経費(百万円)	989	1,049	998	3,036	

※ 水のみち…水路敷を利用して整備した歩行者空間



生活道路の整備 安全対策路線整備

5 自転車等放置防止対策の推進

駅周辺に自転車駐車を整備するとともに、放置防止活動を実施し、交通及び防災上の安全性やまちの美観の向上など、良好な生活環境の充実を図ります。子ども乗せ自転車等の大型自転車の普及など多様化する自転車への対応や、駐車場の規模適正化に向けた調査・検討を進めます。また、自動二輪車*置場や買い物等の店舗近接の駐車需要への対応を図るため、民間事業者による自転車駐車場等整備を支援し、自転車等の駐車環境の改善に取り組みます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	放置防止協力員 《累計51団体》	放置防止協力員 《累計51団体》	放置防止協力員 《累計51団体》	放置防止協力員 《累計51団体》	放置防止協力員 《累計51団体》
	街頭指導の強化 実施	街頭指導の強化 実施	街頭指導の強化 実施	街頭指導の強化 実施	街頭指導の強化 実施
	自転車駐車場整備 調査・検討	自転車駐車場整備 新規整備 調査・検討 大型自転車対策を 含む規模適正化 調査・検討	自転車駐車場整備 新規整備 調査・検討 大型自転車対策を 含む規模適正化 調査・検討	自転車駐車場整備 新規整備 調査・検討 大型自転車対策を 含む規模適正化 検討・実施	自転車駐車場整備 新規整備 調査・検討 大型自転車対策を 含む規模適正化 調査・検討・実施
	自動二輪車置場整備 整備支援	自動二輪車置場整備 整備支援	自動二輪車置場整備 整備支援	自動二輪車置場整備 整備支援	自動二輪車置場整備 整備支援
	買物客等一時利用者 置場整備 整備支援	買物客等一時利用者 置場整備 整備支援	買物客等一時利用者 置場整備 整備支援	買物客等一時利用者 置場整備 整備支援	買物客等一時利用者 置場整備 整備支援
民営自転車駐車場等 への支援 整備等助成	民営自転車駐車場等 への支援 整備等助成	民営自転車駐車場等 への支援 整備等助成	民営自転車駐車場等 への支援 整備等助成	民営自転車駐車場等 への支援 整備等助成	
経費(百万円)		6	6	6	18

* 自動二輪車…総排気量が50ccを超える自動二輪車

6 都市基盤情報の整備

地籍調査*1によって都市基盤整備の基礎となる土地の情報を整備し区民の財産を守るとともに、道路等公共物管理の適正化や首都直下地震など大規模災害が発生した際の復旧・復興の迅速化に役立てます。

地理情報システム(GIS*2)の運用とともに、公開型GIS(web版・アプリ版)を活用し、区が保有する基盤情報のオープン化を拡充していきます。今後も機能拡充を検討し、高精度な基盤情報の提供に努めます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	地籍調査 1.23km ²	地籍調査 1.42km ²	地籍調査 1.74km ²	地籍調査 1.91km ²	地籍調査 5.07km ²
	地理情報システム (GIS) 運用・活用 基盤情報のオープン化	地理情報システム (GIS) 運用・活用 基盤情報のオープン化	地理情報システム (GIS) 運用・活用 基盤情報のオープン化	地理情報システム (GIS) 運用・活用 基盤情報のオープン化	地理情報システム (GIS) 運用・活用 基盤情報のオープン化
経費(百万円)		86	121	111	318

*1 地籍調査…登記されている地番ごとの土地の所有者・面積・地目・地番・境界を明らかにする土地の最も基本的な調査で、自治体が国土調査法に基づいて行うもの

*2 GIS(地理情報システム)…Geographic Information Systemの略で、位置などに関する様々な情報をコンピュータを用いて電子地図上に重ね合わせ、情報の分析・解析を行ったり、情報を視覚的に表示させるシステム

7 新たな地域交通の整備

今後の少子高齢化の進展など社会環境の変化に応じ、道路等の都市基盤の整備や施設の再編整備に加え、地域交通の利便性向上について調査・研究を進めるとともに、利用者が必要に応じて身近に利用できるシェアサイクルの導入を他区との連携を視野に入れて検討します。また、関連区と協力して、環状八号線を基本ルートとする区部周辺部環状鉄道(エイトライナー[※])の早期実現を目指します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	地域交通の利便性向上 調査・研究	地域交通の利便性向上 調査・研究	地域交通の利便性向上 調査・研究	地域交通の利便性向上 調査・研究	地域交通の利便性向上 調査・研究
	シェアサイクル 調査・研究	シェアサイクル 事業化検討	シェアサイクル 事業化検討	シェアサイクル 事業化検討	シェアサイクル 事業化検討
	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整	エイトライナー 調査・研究・調整
経費(百万円)		1	1	1	3

※ エイトライナー…環状八号線を基本的な導入空間として、羽田空港から赤羽線までの44.6kmを結ぶ新しい環状鉄道

8 ユニバーサルデザイン^{※1}のまちづくり推進

重点

住宅都市杉並にふさわしい誰もがどこでも自由に暮らしやすいまちづくりを実現するため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、関係機関との連携の下、ユニバーサルデザインの整備を推進するとともに、「杉並区バリアフリー^{※2}基本構想」に基づき区全体のバリアフリー化事業を推進します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	ユニバーサルデザインの整備推進	ユニバーサルデザインの整備推進	ユニバーサルデザインの整備推進	ユニバーサルデザインの整備推進	ユニバーサルデザインの整備推進
	バリアフリー化事業の推進 区立施設のトイレ洋式化 方南町駅周辺地区での区立施設バリアフリー改修 小学校1校 和泉保健センター	バリアフリー化事業の推進 区立施設のトイレ洋式化 —	バリアフリー化事業の推進 — —	バリアフリー化事業の推進 — —	バリアフリー化事業の推進 区立施設のトイレ洋式化
	バリアフリー推進連絡会 開催 2回	バリアフリー推進連絡会 開催 2回	バリアフリー推進連絡会 開催 2回	バリアフリー推進連絡会 開催 2回	バリアフリー推進連絡会 開催 6回
経費(百万円)		58	1	1	60

※1 ユニバーサルデザイン…年齢・性別・能力・国籍等の違いにかかわらず、すべての人が使いやすいように建築物、製品、環境及び制度やサービスなどをあらかじめデザインすること

※2 バリアフリー…障害者や高齢者等にとっての障害を解消すること。施設などの物理的な障害にとどまらず、心のバリアフリー、情報バリアフリー等、高齢者や障害者を取り巻く生活全般に関連するものを含む考え方

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

施策5 良好な住環境の整備

1 住宅確保要配慮者*の民間賃貸住宅への入居支援の充実

重点

居住支援協議会において、民間賃貸住宅への入居相談・あっせん、家賃等債務保証や見守りサービス等の入居支援事業や住宅改修を促進させる事業を円滑に実施できるよう、構成団体間の調整を行うなどの運営支援を行います。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	居住支援協議会 運営支援	居住支援協議会 運営支援	居住支援協議会 運営支援	居住支援協議会 運営支援	居住支援協議会 運営支援
	経費(百万円)	12	12	12	36

* 住宅確保要配慮者…住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律で定義されている、低額所得者、被災者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者

2 公営住宅の運営

区営住宅の室内バリアフリー化や長寿命化を図るなどの快適な住環境整備を推進するとともに、長寿命化計画を改定し、将来の区営住宅の更新時期を見定めます。また、都営住宅の移管により区営住宅の戸数の拡大を図るなど、区民のニーズを踏まえた運営を行います。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	区営住宅の住環境整備 バリアフリー化 加齢対応型浴槽設置 43所	区営住宅の住環境整備 バリアフリー化 加齢対応型浴槽設置 19所	区営住宅の住環境整備 バリアフリー化 加齢対応型浴槽設置 19所	区営住宅の住環境整備 バリアフリー化 加齢対応型浴槽設置 19所	区営住宅の住環境整備 バリアフリー化 加齢対応型浴槽設置 57所
	区営住宅の長寿命化	区営住宅の長寿命化 長寿命化計画 改定の検討	区営住宅の長寿命化 長寿命化計画 改定の検討	区営住宅の長寿命化 長寿命化計画 改定	区営住宅の長寿命化 長寿命化計画 改定の検討・改定
	外壁改修 2団地6棟	外壁改修 4団地6棟	外壁改修 2団地4棟	外壁改修 2団地5棟	外壁改修 8団地15棟
	都営住宅の移管 (累計32団地) 候補団地の検討	都営住宅の移管 候補団地の協議	都営住宅の移管 移管 1団地 (累計33団地)	都営住宅の移管 候補団地の検討	都営住宅の移管 移管 1団地 (累計33団地) 候補団地の協議・ 検討
	高齢者住宅の供給 (353戸)	高齢者住宅の供給 (353戸)	高齢者住宅の供給 (353戸)	高齢者住宅の供給 (353戸)	高齢者住宅の供給 (353戸)
	経費(百万円)	95	61	104	260

3 まちづくり活動の支援

まちづくりの機運を高め地域住民の生活環境の向上を図るため、助成金の交付やまちづくりコンサルタントの派遣をすることにより、区民や地域団体の主体的なまちづくり活動を支援します。また、まちづくり協議会によるまちづくり構想の提言やその後の取組の実態、まちづくり活動に関する区民ニーズ等を踏まえ、より活用しやすい支援内容となるよう対応策を検討し具体化を図ります。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	まちづくり活動支援内容見直し検討	まちづくり活動支援内容見直し実施	—	—	まちづくり活動支援内容見直し実施
	まちづくり団体等活動助成実施	まちづくり団体等活動助成実施	まちづくり団体等活動助成実施	まちづくり団体等活動助成実施	まちづくり団体等活動助成実施
	まちづくり協議会活動助成実施	まちづくり協議会活動助成実施	まちづくり協議会活動助成実施	まちづくり協議会活動助成実施	まちづくり協議会活動助成実施
	まちづくりコンサルタント派遣実施	まちづくりコンサルタント派遣実施	まちづくりコンサルタント派遣実施	まちづくりコンサルタント派遣実施	まちづくりコンサルタント派遣実施
経費(百万円)		1	1	1	3

4 地区計画※等によるまちづくりの推進

住環境の向上とより良い市街地形成を目指し、地域のまちづくりの方針を示した計画や地区計画、まちづくりルール等の制度を活用し、その地域の特性を生かしたまちづくりを進めます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	蚕糸試験場跡地地区道路整備	蚕糸試験場跡地地区道路整備	蚕糸試験場跡地地区道路整備	蚕糸試験場跡地地区道路整備	蚕糸試験場跡地地区道路整備
	放射5号線周辺地区まちづくり計画 周知・取組の推進 地区計画 周知・運用	放射5号線周辺地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 周知・運用	放射5号線周辺地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 運用	放射5号線周辺地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 運用	放射5号線周辺地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 周知・運用
	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 検討・策定 地区計画 検討	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 策定	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 周知・運用	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 周知・運用	阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画 取組の推進 地区計画 策定・周知・運用
経費(百万円)		0	0	0	0

※ 地区計画…地区の住民が利用する道路・公園や、建築物に対する規制などを総合的な計画として定め、その地区の特性にふさわしい、より良いまちづくりを誘導する制度

5 空家等対策の推進

重点

空家等対策協議会*の運営により関係機関の連携を図り、専門家による総合相談窓口の開設、空家等利活用モデル事業の実施及び空家の除却助成等、空家等の発生抑制から利活用、除却までの総合的な空家等対策を実施します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	空家等除却工事費助成 10件	空家等除却工事費助成 10件	空家等除却工事費助成 10件	空家等除却工事費助成 10件	空家等除却工事費助成 30件
	専門家による空家等の総合相談窓口 12回	専門家による空家等の総合相談窓口 12回	専門家による空家等の総合相談窓口 12回	専門家による空家等の総合相談窓口 12回	専門家による空家等の総合相談窓口 36回
	空家等利活用モデル事業の実施・検証	空家等利活用モデル事業の実施・検証	空家等利活用モデル事業の実施・検証	空家等利活用モデル事業の実施・検証	空家等利活用モデル事業の実施・検証
	経費(百万円)	23	23	23	69

* 空家等対策協議会…空家等に関する施策について、必要な事項を調査審議するため、学識経験者、専門家、関係行政機関職員等で構成された区長の附属機関

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

施策
6

魅力的でにぎわいのある多心型まちづくり

1 荻窪駅周辺都市再生事業*の推進

重点

区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺地区について、南北地域間の分断解消と都市機能の更なる充実を図るため、「荻窪駅周辺まちづくり方針」に基づき、区民・事業者等と協力して都市再生事業の推進に取り組みます。

「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向けて、「(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略」を策定し、その取組を推進するとともに、荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした観光まちづくりを進めます。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	まちづくり方針に基づく取組の推進 〔(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略〕策定	まちづくり方針に基づく取組の推進 〔(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略〕推進	まちづくり方針に基づく取組の推進 〔(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略〕推進	まちづくり方針に基づく取組の推進 〔(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略〕推進	まちづくり方針に基づく取組の推進 〔(仮称)荻窪駅周辺都市総合交通戦略〕推進
	荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上調査・検討 広報等による普及啓発	荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上調査・検討 広報等による普及啓発	荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上推進 広報等による普及啓発	荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上推進 広報等による普及啓発	荻窪駅周辺の歴史的・文化的資源を生かした回遊性向上調査・検討・推進 広報等による普及啓発
	経費(百万円)	5	5	5	15

* 荻窪駅周辺都市再生事業…区内最大の交通結節点である荻窪駅周辺のまちづくりに取り組み、魅力を高め、杉並全体を牽引していくことで、住宅都市としての発展を目指していく事業

2 多心型まちづくりの推進

重点

交通拠点である駅を中心に、地域の特性を生かした商業の活性化や生活利便性の向上を図り、にぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進めます。多様な地域資源の活用について検討し、ハード面の取組とソフト面の取組の連携を図りながら、多心型まちづくりを推進します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進	阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進	阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進	阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進	阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進
	西荻窪駅周辺まちづくり まちづくり方針検討	西荻窪駅周辺まちづくり まちづくり方針検討	西荻窪駅周辺まちづくり まちづくり方針検討	西荻窪駅周辺まちづくり まちづくり方針策定	西荻窪駅周辺まちづくり まちづくり方針検討・策定
	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり まちづくり方針検討	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり まちづくり方針検討	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり まちづくり方針策定	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり まちづくり方針に基づく取組の推進	富士見ヶ丘駅周辺まちづくり まちづくり方針検討・策定 まちづくり方針に基づく取組の推進
	ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり 地域資源の活用実施 地域課題への対応実施	ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり 地域資源の活用実施 地域課題への対応実施	ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり 地域資源の活用実施 地域課題への対応実施	ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり 地域資源の活用実施 地域課題への対応実施	ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり 地域資源の活用実施 地域課題への対応実施
	経費(百万円)	14	14	12	40

3 景観まちづくりの推進

みどり豊かな住宅都市杉並を将来に継承し、魅力あるまちなみを創出するため、「杉並区景観計画」の適切な運用を図るとともに、これまでの広報紙の発行に加え、景観に配慮した優良な取組事例集を発行するなど普及啓発の取組を充実し、区民・事業者等と協働して景観まちづくりを着実に推進します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	景観計画運用	景観計画運用	景観計画運用	景観計画運用	景観計画運用
	景観まちづくり普及啓発 ニュース等の発行 4回 事例集の発行 1回	景観まちづくり普及啓発 ニュース等の発行 4回 —	景観まちづくり普及啓発 ニュース等の発行 4回 —	景観まちづくり普及啓発 ニュース等の発行 4回 事例集の発行 1回	景観まちづくり普及啓発 ニュース等の発行 12回 事例集の発行 1回
経費(百万円)		1	1	1	3

4 杉並らしさを活かした観光事業の推進

重点

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催等を好機と捉え、民間事業者が持つノウハウを活用して、中央線4駅周辺の魅力を広く紹介する「中央線あるあるプロジェクト*1」を推進するとともに、区民目線で区の魅力を紹介する「すぎなみ学俱樂部*2」等により杉並の魅力・情報を発信します。また、杉並体験ツアーを発展させ、複数の観光コンテンツの組み合わせ等により、魅力を高める「杉並魅力創出事業」を実施するほか、「図柄入り杉並ナンバープレート*3」の普及・促進などの事業を通じて、訪問意欲を喚起し、リピーターを含めた更なる来街者の誘致を図ります。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	観光情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 すぎなみ学俱樂部の運営 実施 拠点整備 調査・検討 観光大使事業 実施	観光情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 すぎなみ学俱樂部の運営 実施 拠点整備 調査・検討 観光大使事業 実施	観光情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 すぎなみ学俱樂部の運営 実施 拠点整備 調査・検討 観光大使事業 実施	観光情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 すぎなみ学俱樂部の運営 実施 拠点整備 調査・検討 観光大使事業 実施	観光情報発信事業 中央線あるあるプロジェクトの推進 実施 すぎなみ学俱樂部の運営 実施 拠点整備 調査・検討 観光大使事業 実施
	杉並体験ツアー 実施	杉並魅力創出事業 実施	杉並魅力創出事業 実施	杉並魅力創出事業 実施	杉並魅力創出事業 実施
	フィルムコミッション*4の運営 実施	—	—	—	—
	無料Wi-Fi*5の環境整備 推進	無料Wi-Fiの環境整備 検討・実施	無料Wi-Fiの環境整備 実施	無料Wi-Fiの環境整備 実施	無料Wi-Fiの環境整備 検討・実施
	杉並ナンバーの普及・ 促進 実施	図柄入り杉並ナンバー プレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバー プレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバー プレートの普及・促進 実施	図柄入り杉並ナンバー プレートの普及・促進 実施
経費(百万円)		48	48	48	144

*1 中央線あるあるプロジェクト…区のほか、区内産業団体、企業、NPO等で構成される実行委員会により運営される都市観光事業の一つ

*2 すぎなみ学俱樂部…区民ライターによって取材・執筆が行われている、杉並区の様々な分野の魅力を発信する区公式ウェブサイト

*3 図柄入り杉並ナンバープレート…ラグビーワールドカップ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の特別仕様ナンバープレートにつづき導入される地方版図柄入りナンバープレートで、図柄が入った杉並ナンバープレート(平成30年10月1日から交付)

*4 フィルムコミッション…地域の活性化や観光振興等を図るために設置された、映画・テレビドラマ等の撮影場所誘致や撮影の支援を行う組織

*5 無料Wi-Fi…インターネット等のデータの送受信が行える無線通信環境を無料で提供すること

5 アニメの振興とにぎわいの創出

区内に集積するアニメ制作会社等との連携を推進するとともに、アニメーションミュージアムを観光資源として捉え、企画内容の充実や、より広域に情報発信を行うことで、来街者の誘致につなげていきます。また、区内アニメ制作会社のコンテンツ*1や区公式アニメキャラクター「なみすけ」の活用を積極的に促進し、商店街をはじめとした地域のにぎわいの創出を図ります。さらに、アニメ関連教育機関・企業と連携して、アニメワークショップの充実やアニメ関連教育機関の学生への実習機会を提供するなど、協働による相互の事業充実を図ります。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	アニメーションミュージアムと民間事業者等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営企画・展示及び情報発信の充実 検討・実施 民間事業者等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営企画・展示及び情報発信の充実 検討・実施 民間事業者等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営企画・展示及び情報発信の充実 検討・実施 民間事業者等との連携の推進 実施	アニメーションミュージアムの運営企画・展示及び情報発信の充実 検討・実施 民間事業者等との連携の推進 実施
	アニメコンテンツ**2を活用した事業の推進 実施	アニメコンテンツを活用した事業の推進 実施	アニメコンテンツを活用した事業の推進 実施	アニメコンテンツを活用した事業の推進 実施	アニメコンテンツを活用した事業の推進 実施
	なみすけの商用利用の促進 実施	なみすけの商用利用の促進 実施	なみすけの商用利用の促進 実施	なみすけの商用利用の促進 実施	なみすけの商用利用の促進 実施
		アニメ関連教育機関等との協働 検討・実施	アニメ関連教育機関等との協働 検討・実施	アニメ関連教育機関等との協働 検討・実施	アニメ関連教育機関等との協働 検討・実施
経費(百万円)		5	5	5	15

*1 コンテンツ…内容、中身のこと。一般的には、インターネット等で閲覧できる文章や画像、音楽など、中身となるひとまとまりの情報、又はそれらの組み合わせを意味することが多い

*2 アニメコンテンツ…アニメ作品自体であるほか、キャラクターやストーリー、主題歌など、アニメを構成する映像や画像、音楽、文章、あるいはそれらの組み合わせ

目標2 暮らしやすく快適で魅力あるまち

施策
7

地域の特性を活かし将来を見据えた産業の振興

1 地域特性を活かした商店街活性化促進

重点

区内の商店街を7つのブロックに分け、商店街の立地環境や地域が持つ歴史、自然環境、文化などの特性を生かした事業や、商店街を構成する若手事業者等のグループ、商店街会員以外の企業・団体が提案する、工夫とアイデアが盛り込まれた取組を支援します。併せて、装飾灯のLED化や防犯カメラ設置等の助成を促進し、地域住民がより安全・安心に買い物ができる商店街環境を整備することにより、地域ににぎわいをもたらす商店街づくりを進めます。また、商店街を取り巻く環境の変化に対応した新たな商店街活性化策について、商店街と連携し検討します。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業※1 6商店会	地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業 7商店会	地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業 7商店会	地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業 7商店会	地域特性にあった商店街支援事業・チャレンジ商店街サポート事業 21商店会
	商店街若手支援事業※2 0商店会	商店街若手支援事業 3商店会	商店街若手支援事業 3商店会	商店街若手支援事業 3商店会	商店街若手支援事業 9商店会
	商店街装飾灯のLED化 613本	商店街装飾灯のLED化 125本	商店街装飾灯のLED化 125本	—	商店街装飾灯のLED化 250本
	防犯カメラの設置 5商店会	防犯カメラの設置・更新 7商店会	防犯カメラの設置・更新 7商店会	防犯カメラの設置・更新 7商店会	防犯カメラの設置・更新 21商店会
	新たな商店街活性化策の検討	新たな商店街活性化策の検討	新たな商店街活性化策の検討	新たな商店街活性化策の検討	新たな商店街活性化策の検討
経費(百万円)		60	60	48	168

※1 チャレンジ商店街サポート事業…商店街の活性化に向け、意欲がありながらも人材の不足などの要因から活動力が低下している商店街を、商店街会員以外の企業・団体がサポートするために必要な事業費の一部を区が補助する事業

※2 商店街若手支援事業…若手事業者等の団体が提案する意欲的で工夫とアイデアが生かされた商店街活性化のために必要な事業費の一部を区が補助する事業

2 都市型農業※1の支援

重点

杉並産農産物を区内で消費する地産地消の推進や、意欲的に農業経営に取り組む農業者への活動助成、防災兼用農業用井戸の整備助成などとともに、都市農業の持つ魅力と農地保全の取組を広く発信することにより都市型農業を支援します。また、農業体験農園※2に関する助成や成田西ふれあい農業公園※3の運営など農とのふれあいの場を創出することにより、区民にやすらぎを与える都市農地の保全も図ります。

	30年度末(見込)	31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	農業体験農園助成 50区画 (累計227区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計257区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計287区画)	農業体験農園助成 30区画 (累計317区画)	農業体験農園助成 90区画 (累計317区画)
	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営	成田西ふれあい農業公園の運営
	防災兼用農業用井戸の整備助成 3基 (累計19基)	防災兼用農業用井戸の整備助成 3基 (累計22基)	防災兼用農業用井戸の整備助成 3基 (累計25基)	防災兼用農業用井戸の整備助成 3基 (累計28基)	防災兼用農業用井戸の整備助成 9基 (累計28基)
	杉並産野菜の活用 学校給食 755回 事業所・即売会等 34回	杉並産野菜の活用 学校給食 770回 事業所・即売会等 36回	杉並産野菜の活用 学校給食 790回 事業所・即売会等 38回	杉並産野菜の活用 学校給食 810回 事業所・即売会等 40回	杉並産野菜の活用 学校給食 2,370回 事業所・即売会等 114回
	認定農業者※4の認定 3人	認定農業者の認定 3人	認定農業者の認定 3人	認定農業者の認定 3人	認定農業者の認定 9人
	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 25件	営農活動支援費の助成 75件
	農地保全のための取組 実施	農地保全のための取組 実施	農地保全のための取組 実施	農地保全のための取組 実施	農地保全のための取組 実施
経費(百万円)		27	28	28	83

※1 都市型農業…新鮮な農産物の供給だけでなく、農業体験の場や災害時のオープンスペースの役割なども併せ持つ、市街地及びその周辺地域において行われる農業

※2 農業体験農園…園主(農家)が開設し、利用者は園主が定めた年間計画に沿って、園主の指導のもと、苗の植え付けから栽培管理・収穫までの農作業を体験できる農園

※3 成田西ふれあい農業公園…区民が農に親しむ場として、気軽に土とふれあい、農を「見る」「ふれる」「楽しむ」ことができる公園

※4 認定農業者…国の制度に基づき、農業者が作成した効率的で安定した農業経営改善計画を区が認定する農業者

3 中小企業の支援

地域経済の状況を見据え、安定的な経営を目指す中小企業者の経営基盤の強化、新たな事業展開や事業の承継など、中小企業が抱える様々な経営課題の解決に向けた企業の取組を支援していきます。また、住宅都市と調和したビジネスの創業が活発化し、地域とともに発展していけるよう支援します。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	経営支援 経営・事業承継アドバイザー*派遣 20事業所	経営支援 経営・事業承継アドバイザー派遣 20事業所	経営支援 経営・事業承継アドバイザー派遣 20事業所	経営支援 経営・事業承継アドバイザー派遣 20事業所	経営支援 経営・事業承継アドバイザー派遣 60事業所
	異業種交流 4回	異業種交流 4回	異業種交流 4回	異業種交流 4回	異業種交流 12回
	区内産業の状況分析と活用 実施	区内産業の状況分析と活用 実施	区内産業の状況分析と活用 実施	区内産業の状況分析と活用 実施	区内産業の状況分析と活用 実施
	創業支援 創業支援セミナー 1回	創業支援 創業支援セミナー 1回	創業支援 創業支援セミナー 1回	創業支援 創業支援セミナー 1回	創業支援 創業支援セミナー 3回
経費(百万円)		4	4	4	12

※ 経営・事業承継アドバイザー…区内で事業を営んでいる人、これから創業する人を対象に、経営や事業承継などに関する助言・指導を行うアドバイザー(中小企業診断士等)

4 若者等の就労支援

就労支援センターにおいて、就労準備相談や心としごとの相談、各種就労支援セミナーを実施するとともに、就労準備相談の利用だけでは具体的な就労に至らない若者等に対し、就労準備訓練や社会適応力訓練を実施します。また、ハローワーク新宿や近隣区、区内事業者と連携し、保育・介護分野の人材不足対策のため、就職面接会等を実施することにより区内での就職に結びつけます。

30年度末(見込)		31(2019)年度	32(2020)年度	33(2021)年度	3か年計
事業量	就労準備相談・心としごとの相談 利用延べ人数 2,150人	就労準備相談・心としごとの相談 利用延べ人数 2,150人	就労準備相談・心としごとの相談 利用延べ人数 2,150人	就労準備相談・心としごとの相談 利用延べ人数 2,150人	就労準備相談・心としごとの相談 利用延べ人数 6,450人
	求人開拓・企業情報提供等 新規求人情報受理件数 360件	求人開拓・企業情報提供等 新規求人情報受理件数 400件	求人開拓・企業情報提供等 新規求人情報受理件数 400件	求人開拓・企業情報提供等 新規求人情報受理件数 400件	求人開拓・企業情報提供等 新規求人情報受理件数 1,200件
	セミナー・グループワーク 開催回数 120回	セミナー・グループワーク 開催回数 120回	セミナー・グループワーク 開催回数 120回	セミナー・グループワーク 開催回数 120回	セミナー・グループワーク 開催回数 360回
	就労準備訓練及び社会適応力訓練 利用登録者数 120人 ふるさと就労体験* 1回	就労準備訓練及び社会適応力訓練 利用登録者数 120人 ふるさと就労体験 1回	就労準備訓練及び社会適応力訓練 利用登録者数 120人 ふるさと就労体験 1回	就労準備訓練及び社会適応力訓練 利用登録者数 120人 ふるさと就労体験 1回	就労準備訓練及び社会適応力訓練 利用登録者数 360人 ふるさと就労体験 3回
	就職相談・面接会の実施 10回	就職相談・面接会の実施 20回	就職相談・面接会の実施 20回	就職相談・面接会の実施 20回	就職相談・面接会の実施 60回
	経費(百万円)		75	75	75

※ ふるさと就労体験…交流自治体の特性を生かした就労体験(農業体験など)を通じて、就労阻害要因を抱える若者の就労意欲を高める合宿型の就労訓練